

# 平成12年度北海道地区国立学校等技術専門職員研修報告

センター系 (情報メディア教育センター) 松田 悟  
建設・機械系 (建設システム工学科) 浅野 克彦  
センター系 (地域共同研究開発センター) 黒島 利一

## 1. 研修期間・場所・参加者

期 間：2000年11月14日 (火)～17日 (金)

場 所：北海道大学学術交流会館 (施設見学「札幌ドーム」)

参加者：情報処理コース (28名)、土木・建設コース (20名)

## 2. 研修目的

この研修は、北海道地区国立学校等の技術専門職員及び技術専門職員相当の職にある者に対して、その職務遂行に必要な基本的、一般的知識及び新たな専門的知識、技術等を修得させ、職員としての資質の向上を図ることを目的とする。

## 3. 研修内容( )は土木・建設コースの講義)

### 3.1 第1日目 (14日 (火) 9:45～18:30)

オリエンテーション、開講式

講義「大学行政上の問題」 文部省高等教育局企画課 玉上 晃 氏

講義「人事行政上の諸問題」 文部省大臣官房人事課 松田 典明 氏

講義「先輩講話」 北大理学研究科技術専門官 小檜山守男 氏

ビデオ「安全管理」

懇親会

### 3.2 第2日目 (15日 (水) 9:45～17:30)

講演「火山噴火と減災の科学」 北大理学研究科教授 岡田 弘 氏

講義「情報通信インフラの技術動向」 北大工学研究科教授 山本 強 氏

講義「廃棄物の現状と今後」 北大工学研究科教授 田中 信壽 氏

施設見学「札幌ドーム」

### 3.3 第3日目 (16日 (木) 9:45～17:30)

講演「環境マネジメントシステム」 (株)エコスリサーチ・アンド・コンサルティング 部部长

伊藤 公裕 氏

講義「インターネットの仕組み」 北大情報メディア教育研究総合センター助教授

棟朝 雅晴 氏

講義「交通におけるリスクマネジメント」 北海道大学工学研究科教授

佐藤 馨一 氏

講義「インターネット検索とオブジェクト指向型データベース」

富士通ソフトウェア事業本部アプリケーションサーバソフトウェア事業部 関根 剛 氏

嶺野 和夫 氏

講義「エルムトンネル工事における土木技術」

伊藤・三井・竹中土木・鹿島・勇特定共同企業体

3.4 第4日目(17日(金) 9:45~15:00)

討論「技術討論」各コース14名と10名に分かれ自己紹介後、討論

講義「ヒューマン・コンピュータ・インターフェース」

北大大学院工学研究科教授 柄内 香次 氏

講演「コミュニケーションとメンタルヘルス」

司会業・テレビリポーター 徳永 エリ 氏

閉講式

4. 所感

松田 悟 (情報処理コース)

岡田弘氏の「火山噴火と減災の科学」、山本強氏「情報通信インフラの技術動向」、棟朝雅晴氏の「インターネットの仕組み」や徳永エリ氏の「コミュニケーションとメンタルヘルス」は興味の湧く話題であった。

「情報処理コース」には、「情報」と殆ど関係のない専門職員が多く、従って「技術討論」も一部の参加者だけで終わったように思われる。「技術討論」のテーマが予め設定されておらず、指定された司会者に一任され、自由な雰囲気の中で討論に参加することができた。

研修を準備された方、および当日の進行に当たられた方、そして講師の方々にお礼申し上げます。

浅野 克彦 (土木・建設コース)

今回の専門職員研修は非常に有意義であった。特に、教育・研究を補助していく上での狭い分野の技術的な事柄よりも、むしろ多面的な物事の捉え方、全体を見据えた上での技術の利用の仕方、研究に関わる職員の責任と覚悟について学んだことが貴重な経験であった。「技術討論」では、土木・建築コースの討論参加者の専門分野が異なるため、全員が共通したテーマで討論することが出来なかった。しかしその反面、様々な意見を交わすことができ大変参考になった。

最後に、この研修の準備等に関わったすべての方々と、この研修に参加する機会を与えて下さった技術部長をはじめ各系の技術長、関係部局の方々に深く感謝申し上げます。

黒島 利一 (情報処理コース)

講義では行政上の問題点やネットワークに関しての現状と今後の展望について話された。先輩講話では道内の技術専門官同志と連携をとり意見交換をしているなどの紹介もあった。技術討論会は自己紹介に終始し意見交換の時間が少なかったように思う。その中で各自の技術的な問題をどのように解決するかについての話があったが、私の経験からネットワークを利用することで問題を解決できるように思えた。この研修には多数の人が参加し、いろいろな場での対話の中で見聞を広めることができ有意義であった。

最後に研修の機会を与えてくれた関係各位に感謝する。